

第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

第1節 文化財の指定と調査・保護

1 指定文化財

県内の国及び県指定等の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 新指定等文化財

区分	名称	所在地	所有者又は代表者	指定等年月日
天然記念物	十八鳴浜及び九九鳴き浜	気仙沼市大初平、同 外浜	気仙沼市ほか	H23. 9. 21
重要有形民俗文化財	福應寺毘沙門堂奉納養蚕信仰絵馬	角田市鳩原	福應寺	H24. 3. 8
登録有形文化財(建造物)	大崎八幡宮社務所ほか2件	仙台市青葉区八幡4丁目	大崎八幡宮	H23. 7. 25

第8-2表 文化財指定等件数(平成23年度末)

区分	種別	国指定	県指定	計	
有形文化財	建造物	19(3)	37	56	
	美術	絵画	2	14	16
		彫刻	8	27	35
	工芸品	工芸品	11	22	33
		書跡・典籍	5(2)	20	25
		古文書・古碑	1		1
		考古資料	8	6	14
	歴史資料	2(1)	12	14	
無形文化財	工芸技術	1	2	3	
	その他		1	1	
民俗文化財	有形民俗文化財	1	4	5	
	無形民俗文化財	風俗慣習	4	9	13
		民俗芸能	3	33	36
民俗文化財	風俗慣習・民俗芸能		2	2	
記念物	史跡	34(1)	15	49	
	史跡・名勝	1		1	
	名勝	4(1)	2	6	
	天然記念物	28(1)	31	59	
合計		132(9)	237	369	
・選定文化財 (国選定) (県選定)					
保存技術	選定保存技術	1		1	
・記録作成等の措置を講ずべき文化財 (国選択) (県選択)					
無形民俗文化財	風俗慣習	4		4	
	民俗芸能	4		4	
・登録文化財 (国登録)					
有形文化財	建造物	86			
	美術工芸品	1			

注1：国指定の有形文化財(重要文化財)の中で特に価値の高いものを国宝、国指定の記念物(史跡・名勝・天然記念物)の中で特に重要なものを特別史跡・特別名勝・特別記念物に指定している。

注2：()内は、国宝・特別史跡・特別天然記念物の件数を内数で示している。

2 文化財の調査・保護

(1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

ア 保護体制の整備

県の埋蔵文化財保護体制を充実させるため、以下の会議により調整を図った。

(ア) 東日本大震災に伴う埋蔵文化財保護に関する会議

○文化庁主催

○平成23年7月12日・9月2日・10月13日・11月7日

12月13日・平成24年1月18日・2月25日・3月22日(計8回)

○場 所 東京都・宮城県・岩手県・福島県

○参加者 文化庁・宮城県・福島県・岩手県・仙台市

兵庫県・神戸市・奈良文化財研究所

(イ) 市町村文化財担当者会議

○平成23年5月12日・6月30日・10月26日・12月21日

○場 所 東北歴史博物館

○参加者 35市町村文化財担当者

イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人(仙台市4人、大崎市7人、加美町3人、栗原市10人、登米市9人、気仙沼市3人、石巻市7人、南三陸町2人)委嘱し、国指定の重要文化財(建造物)、史跡、名勝、天然記念物及び主たる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施したほか、文化財保護地区指導員ほかを対象とした以下の会議及び研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

(ア) 文化財保護地区指導員及び市町村文化財担当者会議

○平成23年6月30日

○場 所 東北歴史博物館

○参加者 各市町村担当者及び文化財保護地区指導員

(イ) 市町村文化財担当者・文化財保護地区指導員研修講座

○月 日 平成23年10月6日

○会 場 瑞巖寺

○研修内容 講演「国宝瑞巖寺の建物群と平成の大修理」

講師 文化財建造物保存技術協会 瑞巖寺

修理設計監理事務所長 酒巻仁一

瑞巖寺本堂発掘調査見学

○参加者 各市町村担当者、文化財保護地区指導員、文化財保護委員

ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

エ 発掘調査

(ア) 平成23年度：埋蔵文化財発掘届等の件数

(第8-3表参照)

○調査のための発掘届(法92条第1項) 5件

○土木工事に伴う届(法93条第1項) 909件

○土木工事に伴う通知(法94条第1項) 189件

○遺跡発見の届(法96条第1項) 0件

○遺跡発見の通知(法97条第1項) 8件

○教育委員会の発掘調査(法99条第1項) 341件

合計 1,444件

(イ) 国庫補助事業による詳細分布調査(県教委が主体もしくは担当した調査)(第8-4表参照)

(ウ) 受託事業による調査(第8-4表参照)

(エ) 執行委任事業による調査(第8-4表参照)

(オ) その他の調査(第8-4表参照)

第8-3表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市 町 村 名	92条	93条	94条	96条	97条	99条	計
1	仙 台 市	4	412	24			87	527
2	白 石 市		15				9	24
3	角 田 市		3	2			5	10
4	七ヶ宿町							
5	蔵 王 町		8	3			9	20
6	大 河 原 町		1					1
7	村 田 町			1				1
8	柴 田 町		9	10			6	25
9	川 崎 町							
10	丸 森 町		4				2	6
11	塩 竈 市		5				1	6
12	名 取 市		49	3			29	81
13	亘 理 町		13	1			9	23
14	山 元 町		9	1			9	19
15	岩 沼 市	1	5	11			3	20
16	松 島 町		18	5			5	28
17	多 賀 城 市		110	9			48	167
18	七ヶ浜町		2	2			1	5
19	利 府 町		12	2			3	17
20	大 和 町		15	3			6	24
21	大 郷 町							
22	大 富 谷 町		3				2	5
23	大 衡 村		1				1	2
24	大 崎 市		50	26			41	117
25	加 美 町	1	7	8			9	24
26	色 麻 町		1	2				3
27	涌 谷 町		1					1
28	美 里 町		10	4			6	20
29	栗 原 市		59	39			26	124
30	登 米 市		29	21			2	52
31	石 巻 市		23	5			1	29
32	東 松 島 市		11	1			7	19
33	女 川 町		2					2
34	気 仙 沼 市		21	6			13	40
35	南 三 陸 町		1				1	2
	合計	5	909	189			341	1444

平成23年度発掘調査遺跡一覧

受託契約による調査

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	常磐自動車道建設	東日本高速道路株式会社	西石山原遺跡 上宮前遺跡 北山神遺跡 内手遺跡 山王B遺跡 荷駄馬B遺跡 上小山遺跡 法羅遺跡	山元町	発掘調査 確認調査	3,300 100 800 4,500 100 100 1,100 700	6月13日～12月14日 2月8日～3月2日	調査担当 縄文時代：住居跡、掘立柱建物跡、土坑など。縄文土器、石器など。 古代：住居跡、掘立柱建物跡、土器埋設遺構、炭窯跡など。土師器、須恵器、古銭など。 中近世：掘立柱建物跡、土坑など。陶磁器、瓦など。
2	国道4号築館バイパス建設	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	大天馬遺跡	栗原市	発掘調査	3,100	7月19日～10月11日	調査担当 古代の住居跡、掘立柱建物跡、溝跡など。土師器、須恵器など。
3	石巻変電所拡張工事	東北電力株式会社	須江瓦山A窯跡	石巻市	発掘調査	3,590	7月4日～12月5日	調査担当 中近世の掘立柱建物跡、井戸跡など。中世陶磁器、近世陶磁器、近世瓦など。

執行委任による調査

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	県営ほ場整備事業 田尻西部地区	宮城県 (北部地方振興事務所)	北小松遺跡 団子山西遺跡	大崎市	発掘調査 確認調査	258 7,800	4月18日～4月28日 5月30日～11月30日	調査担当 縄文時代の土器など。 古代の住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、土坑、河川跡など。中世の井戸跡、土坑など。古代の土師器、須恵器など。中世の陶磁器、木製品など。
2	大内自歩道改良工事	宮城県 (大河原土木事務所)	卯月沢遺跡	丸森町	発掘調査	250	11月7日～3月16日	調査担当 古代の住居跡、溝跡、土坑など。土師器、須恵器など。

その他の調査（市町村協力）

No.	事業名	事業主	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	大内自歩道改良工事	宮城県 (大河原土木事務所)	卯月沢遺跡	丸森町	確認調査	90	4月18日～4月20日	調査協力 古代の住居跡、溝跡など。土師器、須恵器。
2	工場団地造成事業	土地区画整理組合	兵六館跡ほか	富谷町	確認調査	2,406	5月9日～6月10日	調査協力 縄文時代の住居跡。古代の竪穴遺構。中世の掘立柱建物跡、整地層、土塁など。縄文土器、土師器、中世陶器など。
3	個人住宅新築	個人	新田遺跡	多賀城市	発掘調査	64	5月9日～5月20日	調査協力 中近世の溝跡。中世陶器、土師器、須恵器など。
4	瑞巖寺本堂修理事業	瑞巖寺	瑞巖寺境内遺跡	松島町	発掘調査	1,200	5月16日～1月18日	調査協力 近世：倉庫、足場穴、石敷跡など。陶磁器、瓦など。 中世：礎石建物跡、井戸跡、池跡、溝跡、土坑など。陶磁器、瓦、板碑、五輪塔など。 古代の土師器、須恵器。
5	店舗兼住宅新築（復興）	個人	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	12	5月23日	調査協力 遺構なし。近世瓦。
6	個人住宅新築（復興）	個人	松島マリナー脇遺跡	松島町	確認調査	12	7月25日	調査協力 遺構・遺物なし。
7	個人住宅新築	個人	上川名貝塚	柴田町	確認調査	27	7月27日	調査協力 遺構・遺物なし。
8	個人住宅新築（復興）	個人	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	5	8月5日	調査協力 遺構なし。近世瓦。
9	浄化槽設置（復興）	個人	論館跡	南三陸町	確認調査	2	9月1日	調査協力 遺構・遺物なし。
10	道路改良	加美町	葉兼原No.15遺跡	加美町	発掘調査	480	9月5日～9月16日	調査協力 旧石器（ナイフ形・彫刻刀形・礫など）
11	工場増築	株式会社ニッケイ加工	明神堂遺跡	柴田町	確認調査	7	9月6日	調査協力 遺構・遺物なし。
12	個人住宅新築	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	16	9月15日	調査協力 遺構なし。土師器。
13	宅地造成	株式会社中央製作所	臥牛城跡	亘理町	発掘調査	800	10月11日～12月13日	調査協力 古代の住居跡、土坑など。土師器、須恵器、近世陶磁器など。
14	農業基盤整備	宮城県 (北部地方振興事務所)	小梨沢遺跡	加美町	確認調査	476	10月17日	調査協力 遺構・遺物なし。
15	個人住宅新築	個人	砂田遺跡	丸森町	確認調査	19	10月24日	調査協力 遺構・遺物なし。
16	共同住宅	個人	小沢原遺跡	塩竈市	確認調査	140	10月31日～1月1日	調査協力 遺構なし。土師器、須恵器。
17	個人住宅新築（復興）	個人	観音堂裏遺跡	松島町	確認調査	8	11月24日	調査協力 遺構・遺物なし。
18	工場団地造成	宮城県土地開発公社	小田切A遺跡	大衡村	確認調査	604	12月5日～12月12日	調査協力 土坑、炭窯跡。遺物なし。
19	個人住宅新築（復興）	個人	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	11	12月12日	調査協力 遺構なし。近世磁器。
20	個人住宅新築	個人	館前貝塚	柴田町	確認調査	15	12月14日	調査協力 遺構・遺物なし。
21	個人住宅新築	個人	入間野平城館跡	柴田町	確認調査	7	1月6日	調査協力 遺構・遺物なし。
22	店舗兼住宅新築（復興）	株式会社松島蒲鉾本舗	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	30	2月8日	調査協力 遺構なし。近世磁器。
23	個人住宅新築（復興）	個人	金谷貝塚	柴田町	確認調査	20	2月16日	調査協力 遺構なし。縄文土器。
24	公園整備	柴田町	森合横穴墓群	柴田町	確認調査	455	3月6日～3月15日	調査協力 古墳時代の横穴墓1基、不明遺構2基。土師器。

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報 告 書 名
2012 (平成24年3月)	宮城県文化財調査報告書第229集「須江瓦山A窯跡」
2012 (平成24年3月)	宮城県文化財調査報告書第230集「西石山原遺跡ほか」
2012 (平成24年3月)	宮城県文化財調査報告書第231集「大天馬遺跡」

(2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-5表参照)

イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-6表参照)

ウ 第53回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

平成23年10月30日(日)に秋田県大仙市を会場に開催され、本県から1団体(雄勝法印神楽(石巻市))が出演した。

第8-5表 史跡・名勝等の現状変更件数

種 別	名 称	年 度							
		16	17	18	19	20	21	22	23
特 別 名 勝	松 島	118	88	88	139	135	198	155	234
特 別 史 跡	多賀城跡附寺跡	9	9	10	18	11	8	13	6
そ の 他		35	42	18	38	31	30	22	41
計		162	139	116	195	177	236	193	281

第8-6表 銃砲刀剣類の登録件数

種 類	た ち	刀	わきざし	短 刀	剣	や り	なぎなた	その他	火なわ式銃砲	火打石式銃砲	ピン打式銃砲	計
件 数	16	93	109	38	2	12	3	3	5	0	0	281

3 文化財保護事業に対する助成等(震災関係を除く。)

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-7表

平成23年度国庫補助事業

(単位:千円)

事 業 名	事 業 者	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金等
旧佐藤家住宅 建造物保存修理	角田市	15,065	7,532	1,506	6,027	-
瑞巖寺本堂ほか7棟 建造物保存修理	瑞巖寺	130,000	78,000	13,000	5,000	34,000
仙台藩花山村寒湯番所跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	栗原市	9,600	4,800	960	3,840	-
旧有備館及び庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	大崎市	4,600	2,300	460	1,840	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	20,636	10,318	-	10,318	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	22,326	11,163	-	11,163	-
市内遺跡発掘調査等	大崎市	9,200	4,600	-	4,600	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	4,000	2,000	-	2,000	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	2,014	1,000	-	1,014	-
市内遺跡発掘調査等	白石市	2,004	1,000	-	1,004	-
市内遺跡発掘調査等	名取市	2,006	1,000	-	1,006	-
町内遺跡発掘調査等	亘理町	2,460	1,230	-	1,230	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,000	1,000	-	1,000	-
町内遺跡発掘調査等	松島町	2,600	1,300	-	1,300	-
市内遺跡埋蔵文化財公開活用	多賀城市	2,258	1,129	-	1,129	-
市内遺跡埋蔵文化財公開活用	仙台市	2,701	1,350	-	1,351	-
多賀城跡附寺跡指定文化財管理(国有文化財管理)	多賀城市	208	166	-	42	-

事業名	事業者	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金等
第58回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸品 台展実行委員会	3,148	1,496			1,652
選定保存技術（石盤葺）伝承	佐々木信平	1,112	1,106	-	-	6
多賀城跡附寺跡買上げ（直接買上げ）	多賀城市	250,000	200,000	8,000	42,000	-
伊治城跡買上げ（直接買上げ）	栗原市	46,500	37,200	-	9,300	-
陸奥国分寺跡買上げ（直接買上げ）	仙台市	31,273	25,018	-	6,255	-
仙台郡山官衙遺跡群買上げ（直接買上げ）	仙台市	32,073	25,658	-	6,415	-
陸奥国分寺跡群買上げ（先行取得償還）	仙台市	721,799	577,437	-	144,362	-
郡山官衙遺跡買上げ（先行取得償還）	仙台市	32,446	25,956	-	6,490	-
仙台郡山官衙遺跡買上げ（先行取得償還）	仙台市	3,287	2,629	-	658	-
多賀城跡附寺跡 史跡等・登録記念物・歴史 の道保存整備	宮城県	8,035	4,017	4,018	-	-
特別天然記念物カモシカ食害対策	宮城県	1,636	1,090	546	-	-
県内遺跡発掘調査等	宮城県	14,471	7,195	7,276	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,667	2,333	2,334		
合計		1,384,125	1,041,023	38,100	269,344	35,658

(2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・
生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する調査
を実施した。

(3) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8-8表

平成23年度県費補助事業

(単位：千円)

補助事業名	補助金交付先	補助金額	備 考
清海曼荼羅図保存修理	成覚寺	1,380	補助率 事業費の50%以内
落合観音堂保存修理	落合観音堂奉賛会	4,378	補助率 事業費の50%以内
無形文化財・無形民俗文 化財等保存事業補助	無形文化財保持者及び保持団体 新田柳心館 他 2個人	420	補助率 定額（140千円）
	無形民俗文化財保存団体 湯元田植踊保存会 他44団体	1,350	補助率 定額（30千円）

4 災害復旧事業に対する助成等（震災関係）

(1) 国庫補助事業

国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-9表

平成23年度災害復旧補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	内 訳				
			国庫補助金	県補助金	震災復興 基金	市町村費	所有者負担 金等
旧登米高等尋常小学校 建造物保存修理	登米市	30,200	25,670	906	-	3,624	-
瑞巖寺庫裏及び廊下ほか1棟 建造物保存修 理	瑞巖寺	30,350	22,762	1,897	711	2,845	2,135
東照宮本殿ほか38棟 建造物保存修理	東照宮	22,900	18,320	1,145	715	572	2,148
陸奥国分寺薬師堂 建造物保存修理	陸奥国分寺	8,538	5,976	640	400	320	1,202
洞口家住宅主屋ほか2棟 建造物保存修理	個人	10,945	9,303	410	19	1,155	58
旧中澤家住宅 建造物保存修理	名取市	6,751	4,725	405	-	1,621	-
我家家住宅主屋ほか3棟 建造物保存修理	個人	39,950	33,957	1,498	50	4,294	151
大崎八幡宮 建造物保存修理	大崎八幡宮	9,382	6,567	703	440	351	1,321
木造不動明王坐像 美術工芸品保存修理	大徳寺	10,825	9,201	406	152	609	305
木造薬師如来坐像ほか1件 美術工芸品保 存修理	雙林寺	3,329	2,663	166	83	166	251
多賀城跡附寺跡 史跡等・登録記念物・歴史 の道保存整備	多賀城市	5,355	3,748	321	-	1,286	-

事業名	事業者	総事業費	内 訳				
			国庫補助金	県補助金	震災復興基金	市町村費	所有者負担金等
旧有壁宿本陣 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	個人	5,825	4,951	218	82	328	247
山畑横穴群 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	大崎市	171,350	119,945	8,000	-	43,405	-
大木田遺跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	七ヶ浜町	4,378	3,064	262	-	1,052	-
旧有備館及び庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	大崎市	77,150	54,005	4,629	-	18,516	-
斎藤氏庭園 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	石巻市	137,200	96,040	8,000	-	33,160	-
仙台城跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	仙台市	664,600	465,220	-	-	199,380	-
雄勝法印神楽 民俗文化財伝承・活用	雄勝法印神楽保存会	2,000	1,000	250	93	375	282
雄勝法印神楽 民俗文化財伝承・活用	雄勝法印神楽保存会	7,000	3,500	875	328	1,312	985
合計		1,170,955	890,617	30,731	3,073	314,371	9,085

(2) 県費補助事業

県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8-10表 平成23年度災害復旧補助事業 (単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	県補助金	震災復興基金	市町村費	所有者負担金等
名振のおめつき 保存・伝承	雄勝町名振秋葉神社氏子会	100	50	6	25	19
補陀寺六角堂 建造物修理	補陀寺	3,097	1,250	305	625	917
旧登米警察署 建造物修理	登米市	14,028	7,014	-	7,014	-
旧小関家住宅附表門・路地塀 建造物修理	白石市	2,125	1,062	-	1,063	-
旧上戸沢検断屋敷木村家住宅 建造物修理	白石市	700	350	-	350	-
刈田嶺神社 建造物修理	刈田嶺神社	767	383	19	307	766
富沢磨崖仏群 保存整備	常光寺	1,449	724	90	362	273
永田醸造 修理	老松永田醸造	46,000	-	1,500	-	44,500
合計		68,266	10,833	1,920	9,746	46,475

5 その他

(1) 宮城県地域文化遺産復興プロジェクト

東日本大震災により被災した無形の文化遺産等に対して、活動基盤の再構築を促し、文化遺産を活かして復興に資するとともに、その成果を多様な形で還元するため、記録作成、普及啓発、後継者育成等の事業を実施した。

事業期間：平成23年7月10日～平成26年3月31日

実施主体：宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会

事業予算：32,994,805円(平成23年度)

事業内容

事業1：地域の文化遺産記録作成、調査研究事業

- ①地域文化遺産記録作成事業
- ②地域の文化遺産調査事業

事業2：地域の文化遺産普及啓発事業

事業3：地域の文化遺産継承事業

- ①無形の文化遺産伝承活性化事業
- ②地域文化遺産復興基盤整備事業
- ③伝統文化こども教室事業
- ④がんばれ東北「将棋文化を活用した地域コミュニティ再生」事業

事業4：地域の文化遺産情報発信事業

- ①文化遺産ガイドブック作成事業

②地域伝統文化パンフレット(石巻地区)作成事業

(2) 文化財レスキュー事業

東日本大震災により被災した文化財等(絵画、彫刻、古文書、考古資料など)を緊急に保全するとともに、貴重な文化財の廃棄・散逸を防止するため、4月に「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業(文化財レスキュー事業)」(実施主体:東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(事務局:東京文化財研究所))が立ち上げられ、行政機関や研究機関、学会などの連携・協力の下に、各地の多数の被災文化財等を救出して応急処置を施し、博物館などで一時保管が行なわれた。また、10月には宮城県教育委員会、東北歴史博物館などが中心となって「宮城県被災文化財等保全連絡会議」を設置し、救援委員会とも連携・協力してレスキュー活動を進め、被災文化財の保護・保全に努めた。

○文化財レスキュー事業実績(平成24年3月現在)

42箇所、約15,000件

○主なレスキュー資料

石巻文化センターの収蔵資料・毛利コレクション等

7~8万点以上

東松島市埋蔵文化財収蔵庫の資料等 数千点以上

石巻市唐桑漁村センター民俗資料・生物標本等 約400点

(3) 文化財ドクター派遣事業

被災した建造物の状況調査や応急措置及び復旧に向けた技術的支援等を行うため、文化庁と財団法人日本建築学会が連携・協力し、現地に調査員(文化財ドクター)を派遣するもので、県では関係市町村と連絡調整を図り、この事業の下で被災建造物の復旧支援を行った。

○県教委経由で要請・対応した歴史的建造物

36件(国指定1, 県指定9, 市町村指定11, 国登録1, 未指定未登録14)

第2節 東北歴史博物館

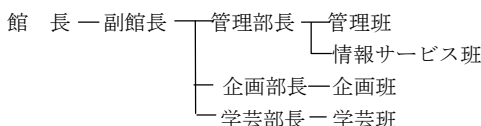
1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

企画展示、教育普及、調査研究及び歴史資料収集管理などの主要事業を積極的に行なった。

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

(決算)

項目	金額(千円)
管理経費	215,104
企画展示費	6,191
教育普及費	1,087
調査研究費	906
資料管理費	6,866
合計	230,154

3 事業

(1) 企画展示事業

ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置してわかりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「郷土玩具の世界」

「杉山コレクション 埴輪」を、展示室2で「染めの型紙」「骨角器の世界」を展示した。また、展示室3では「宮城の文化—高僧たちの墨蹟—」をはじめ8回の展示替えを行なった。

イ 特別展示

東日本大震災の影響により、当初予定していた3本の特別展の開催を、予算の調整や準備の遅れなどがあり、開催を断念せざるを得なかった。その代わりとして文化庁ミュージアム活性化事業の助成を受けて、下記の特別展を開催した。

・特別展「いつも元気なこどもたち!」

会期:平成23年9月23日~12月11日(69日間)

関連企画:「あなたのむかしを教えてください」

観覧者数:9,888人

(2) 教育普及事業

ア こども歴史館の運営

利用者数 21,175人(小・中学校・高校の利用数 延べ164校)

体験企画(解説員主催):

「お正月遊びのタツ人になろう!」

「紅花で染めて紅(くれない)」

イ 図書情報室の運営 利用者数 3,629人

ウ 今野家住宅の運営 利用者数 21,018人

エ 講座等の行事

行事名	回数	参加数(人)	備考
館長講座	7	790	テーマ「古代みやぎの道路と神社」
博物館講座	27	1,338	古文書、史料講読、民俗芸能等
体験教室	16	372	縄文土器、勾玉作り等
多賀城跡巡り	11	97	毎月2回(5月~10月)
民話を聞く会	4	115	多賀城、利府民話の会と共催
体験イベント	3	4,538	春・秋・冬の年3回開催

オ 平成23年度「民話を学ぼう」講座

総参加者数 267名

① 民話にふれよう

期 日 平成 23 年 10 月 9 日
話 者 多賀城民話の会会員
利府民話の会会員

② 民話を学ぼう

期 日 平成 23 年 11 月 6 日・13 日・20 日・27 日
講 師 利府民話の会会員

③ 民話を聞こう

期 日 平成24年1月15日
内 容 「こどもの語り」
「民話を語り継ぐ」
「大人の語りを聞く」

カ 広報と刊行物

『東北歴史博物館 平成22年度年報』
『東北歴史博物館研究紀要13』
『催事カレンダー(4月～7月, 8月～11月, 12月～3月)』

(3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関連する考古資料・民俗資料・文書資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

ア 考古資料の調査研究

平成 22 年までに文化財保護課から移管された資料について、金属製品は 1938 点の登録作業を行い、平成 19 年度登録分を含め、計 3038 点の登録を完了した。木製品については、保存処理原表を元に台帳を作成し、2726 点の登録を行った。

興野コレクションについて、糠塚貝塚出土の土偶 153 点のデジタルカメラによる写真撮影、法量等の基礎データ計測を行い、このうち 24 点については実測図を作成した。これらは研究紀要 13 において報告をおこなった。

東日本大震災による破損資料について、縄文土器等約 120 点の復元・着色作業を行った。

写真資料については、館蔵資料を中心にデジタルカメラによる撮影を行い、75 カットを情報システムに登録した。

イ 民俗資料の調査研究

長年にわたり東北地方の民俗芸能を研究してきた千葉雄市氏の調査資料一式の整理を行った。また、新たに護符資料 23 件、自家製味噌醤油製造民具類 15 件、東北・宮城の祭り写真資料類 2 件、信仰関係資料であるポーの神 1 件、箱枕 1 件を収蔵し整理作業を行った。資料は合わせて 42 件である。

東北地方信仰伝承の調査研究として今年度は、特に東日本大震災対応に時間を割き、仙台市若林区、東松島市、石巻文化センター、石巻市河南町鹿又、南三陸町荒砥での震災資料の救援救済活動を行った。

文化庁支援事業として南部神楽活性化事業を実施し、神楽上演会と舞の見学会を実施した。調査は栗原郡を中心に実施した。

ウ 文書資料の調査研究

新規収集文書については、「高橋常吉家文書」などの整理を行い、寄贈を受けた。

館蔵資料の保存および公開手段の整備を目的として、マイクロフィルム資料のうち、佐々木家文書・奥山家文書(ともに旧加美郡小野田町)の全てと我妻家文書(蔵王町)の一部のデータベース化を行った。

これまで、地震等の災害に対する文化財、特に文書資料の防災対策計画をH25年度までをめどに作成する予定で作業を進めていたが、東日本大震災により、多数の文化財が被災した。今後は、今回の被害状況を加味し、津波被害を含めた防災対策を検討・策定してゆくとともに、津波による被災資料を処置しながら、有効な処置・保存方法を他の関係機関等と連携しながら確立してゆくことを目標とする。

文化庁支援事業として宮城県の地域信仰に関わる文化財活性化事業を実施し、普及啓発を目的として信仰関係文化財に関わる講座と信仰拠点と文化財の見学会を実施した。調査は旧宮城郡を中心に実施した。

エ 美術工芸資料の調査研究

館蔵資料の調査研究として、近世絵画では文人画、工芸資料では杉山コレクション刀装具及び西川コレクションの調査研究をすすめる、その成果の一部をテーマ展示において公開した。

仏教文化及び美術に関する調査研究として、角田市等の信仰拠点の調査成果の整理及び関係文献の情報収集を行い、これらのデータを整備し、オープン講座等の博物館活動において公開した。

東北の近世絵画に関する調査研究として、東北各地に残る名所絵、城下絵図の調査成果の整理及び関係文献等の情報収集を行い、テーマ展示において公開した。

オ 建造物資料の調査研究

古建築の活用に関する調査研究及び管理運営調査として、宮城県内外の歴史的建築物の活用と管理運営について、代表的な古建築群地域の現地調査を行った。また、震災により今野家住宅の土壁・漆喰壁に多くの被害があったため、その修繕方法について、伝統的な左官職人への聞き取り調査を実施した。

気仙大工と地域性についての調査として気仙大工とその背景(地域性)について文献整理を行った。

(4) 資料管理事業

歴史資料・文書資料・民俗資料等を収集し保存及び管理を行い、展示・閲覧・貸出・調査研究などの活用に資する。

ア 実物資料

考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、約 7 万件を超える資料を収蔵している。

資料の館外貸出は35件788点であった。寄贈資料は、『中央公論』等書籍類13点、中・高等教育関係文書等78点、貨幣類20点、炭鉱関係文書類58点、やぐらこたつ・電気あなか等7点、上皿天秤1点、明治期地図等8点、旧日本海軍長剣1点、祭礼行事写真類300点、箱枕1点、漁具・農具等84点、自家製醤油・味噌製造用具26点、農作業着3点など、計600点であった。

イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料について、フィルムやプリントの形態で約67,000点を収蔵している。今年度の写真資料等の貸出及び再掲載申込は、63件367点であった。

ウ 図書資料

当館が所蔵している図書資料の総数は約100,000冊で、そのうち約8,000冊を図書情報室で開架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、収蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

エ 保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、本年度は、建築部材、井戸枠、曲げ物などの木製品70点、刀子や鉄斧などの金属製品132点、イヌ埋葬遺構1点などの保存処理を行った。

オ 保存環境管理・調査

資料の保存状況及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査している。このほか、歴史資料の虫やカビの被害対策として実態を調査し、個別燻蒸消毒を行った。

また、県内外の諸機関から文化財の保存環境についての問

い合わせに対応した。

(5) 震災対応活動

ア レスキュー活動

文化庁が着手した「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」に参加し、被災文化財の救出、現地調査や協議、一時保管施設の収蔵環境調査等を実施した。日数は計51日間、参加した延べ職員数は163人に及んだ。

受け入れた資料は、公的施設1、神社3、個人2の所蔵資料である。資料数としては、石巻文化センターが最も多く1,129件（点数にして数万点）で、内容は毛利コレクション（美術工芸品、歴史資料、考古資料など、重文1点のほか多数の市指定含む）や文書資料、民俗資料などである。この他に、名取市熊野那智神社の懸仏など135件（重文、県指定含む）、南三陸町荒澤神社の経巻1件（県指定）、東松島市海津見神社の仏像1件、宮城歴史資料保全ネットワークを通じて受け入れた石巻市個人所蔵の文書・民具類83件がある。受け入れた資料数は県内のミュージアム施設の中で最も多い。

これらの資料のうち、津波による水損資料については適宜、所蔵者、救援委員会と連絡を取りながら、必要に応じて当館職員や他機関の専門家による応急処置を施した。また、石巻文化センターの資料（文書等）の多くは燻蒸を行い、古鏡や刀剣などの金属製品は脱酸素剤を入れて封入し劣化防止を図った。

イ 宮城県被災文化財等保全連絡会議の活動

宮城県では平成23年10月21日、文化財レスキュー事業に関わるミュージアム、教育委員会、各種文化財関係団体等が連携・協力し、県内の被災文化財等の保全活動を行うことを目

的として「宮城県被災文化財等保全連絡会議」を組織した。

当館は代表幹事兼事務局として、この活動をリードし、被災資料に関する情報共有および交換を行うための全体会議の開催、一時保管資料の収蔵環境調査等、被災資料の保全に努めた。

(参考資料) 第8-11表

平成23年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	5	1,627
5月	27	9,080
6月	26	10,278
7月	27	6,278
8月	26	7,294
9月	26	11,565
10月	26	13,950
11月	26	9,287
12月	24	5,683
1月	23	4,801
2月	17	5,450
3月	27	4,695
計	280	89,988

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院の多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされる重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

(1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

(2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

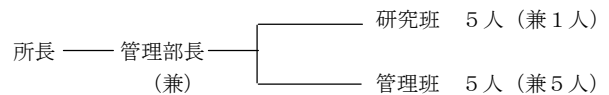
氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学名誉教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学名誉教授	古代史学
委員 飯淵 康一	宮城学院女子大学教授	建築史学
” 鈴木 三男	東北大学大学院教授	植物学

(4) 遺構調査研究事業

古代城柵官衙遺跡の資料を全国規模で収集し調査研究する。

2 組織・予算

(1) 組織



なお、当研究所では第8-9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

”	佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
”	松村 恵司	独立行政法人奈良文化財研究所長	考古学
”	近 江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
”	平川 南	国立歴史民俗博物館長	古代史学
”	進士五十八	東京農業大学名誉教授	造園学

第8-11表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

(2) 予算

ア	多賀城跡発掘調査事業費	11,447千円
イ	多賀城跡環境整備事業費	8,104千円
ウ	多賀城関連遺跡発掘調査事業費 (以上、50%国庫補助事業)	0千円
エ	遺構調査研究費	0千円
オ	収蔵庫整理事業	1,226千円
カ	木簡及び墨書土器集成事業	884千円
キ	発掘資料デジタル化事業	884千円
ク	出土遺物修復事業	2,699千円
ケ	管理費	301千円

3 平成23年度事業の概要

(1) 多賀城跡発掘調査事業

平成23年度は多賀城跡発掘調査第9次5カ年計画の3年次目にあたり、五万崎地区において第83次調査を実施した。発掘調査面積は合計640㎡、調査期間は平成23年6月14日～平成23年11月8日である。総事業費は11,447千円(50%国庫補助)である。

ア 第83次調査の目的

第83次調査は外郭施設の本報告書作成に向けたデータ収集を目的として外郭南辺西端部の五万崎地区の調査を実施した。

イ 第83次調査の成果

外郭南辺の西端付近で築地塀跡を確認し、4時期の変遷を把握した。また、築地塀跡の北側で9～10世紀前半頃の掘立式建物跡を多数発見した。他に、7世紀前半頃の堅穴住居跡、掘立式建物跡なども確認している。

ウ 第83次調査の意義

未調査だった外郭南辺西端付近の築地塀跡を確認したことで、その場所の外郭南辺区画施設が一貫して築地塀であり、ほぼ直線で延びていることが明確になった。また、北側の遺構の状況から9～10世紀頃の五万崎地区が掘立式建物跡を集中的に配した城内でも重要な地区であったことが明らかになってきた。

(2) 多賀城跡環境整備事業

平成23年度は第9次5カ年計画の2年次目にあたり、「政庁地区再整備」の一環として、東脇殿・東楼の平面表示に関わる復元基壇・礎石の設置工事をおこなった。総事業費8,104千円(国庫補助50%)である。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成23年度は第8次5カ年計画の3年次目にあたり、多賀城跡創建期の瓦を焼成した窯跡群の解明を目的として大崎市大吉山瓦窯跡の発掘調査を予定していたが、東日本大震災による復旧事業を優先するため事業を中止した。

(4) 遺構調査研究事業

岡山県総社市鬼ノ城跡、宮城県栗原市伊治城跡、東松島市赤井遺跡、涌谷町城山土塁跡の調査データの収集を予定していたが、東日本大震災による復旧事業を優先するため事業を中止した。

(5) 収蔵庫整理事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連遺跡の発掘により出土した出土遺物量は、整理箱で総数20,000箱を超えている。緊急雇用創出事業の一環で、これらを収納している浮島収蔵庫内の整理事業をおこなった。

(6) 木簡及び墨書土器集成事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連

遺跡の発掘による出土遺物の集成作業の一環として、緊急雇用創出事業を利用して木簡及び墨書土器集成作業をおこなった。

(7) 発掘資料デジタル化事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連遺跡の発掘調査で作成した図面類を、緊急雇用創出事業を利用してデジタル化する作業をおこなった。

(8) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。然し、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。

平成23年度の現状変更申請は2件だが、他に東日本大震災と台風15号による毀損が発生している。現状変更申請と台風による毀損については史跡への影響が軽微と判断されたため工事・復旧の立ち会いにより対応した。大震災による毀損については6月30日付けで史跡管理団体の多賀城市が一括して毀損届けを提出し、その復旧・修復工事は当研究所と多賀城市とで分担して平成24年度予算の災害復旧事業として実施する予定である。

(9) その他

ア 文化財レスキュー活動への参加

震災により被災した文化財のレスキュー活動に参加した。

石巻文化センター被災文化財レスキュー活動

平成23年5月24～27日

東松島市埋蔵文化財収蔵庫被災文化財レスキュー活動

平成23年6月8～10日

イ 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会を開催した。

多賀城跡第83次調査現地説明会

平成23年10月23日 古川一明・三好秀樹・廣谷和也

ウ 各委員会などへの協力

佐藤則之 多賀城市文化財保護委員会委員

史跡伊治城跡調査整備指導委員会委員

亘理町三十三間堂官衙遺跡調査検討委員会委員

角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員会委員

第38回古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人

秋田県弘田柵跡保存管理計画策定指導委員

秋田市秋田城跡環境整備指導委員会委員

盛岡市志波城跡史跡整備委員会委員

エ 発掘調査・講演会などへの協力

古川一明

「宮城の山の寺」山の寺研究会

寒河江市文化センター 平成23年8月4日

三好秀樹

「多賀城跡第83次調査の概要」

平成23年度宮城県遺跡調査成果発表会

東北歴史博物館 平成23年12月10日

廣谷和也

「多賀城跡第83次調査の概要」

第38回古代城柵官衙遺跡検討会

東北歴史博物館 平成24年2月25日

オ 研究発表・執筆など

吉野 武

「多賀城と城下の木簡」

『木簡研究』第33号 平成23年11月25日

カ 連携大学院

佐藤則之(客員教授)・古川一明(客員准教授)
・文化財科学研究実習Ⅰ「古代遺跡調査の方法と実践」

キ 研究成果刊行物

『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2011
-多賀城跡第 83 次調査-』
平成 24 年 3 月
『宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ 多賀城跡木簡Ⅰ 函版編』
平成 24 年 3 月